

東海9条連第14回総会を開催

東海9条連は12月10日、名古屋市内で第14回定期総会を開催しました。迫共同代表はあいさつで「アメリカ・トランプ大統領の登場で世界情勢が変化する。年を取ってきたが元気なうちに若い人たちと平和の闘いをつくる」と述べました。総会には近隣9条連から岐阜県9条連の宇留生さん、静岡県9条連から増田さんが駆けつけてくれました。

特別企画として、松田龍平主演の映画「蟹工船」を鑑賞しました。小林多喜二のプロレタリア文学の名作である「蟹工船」は、国家のためと称して劣悪な労働条件の中で労働を強いられ、または殺され、ついには労働者が蜂起するまでのストーリーが描かれたものです。多喜二みずからも戦前の治安維持法で逮捕され獄中で殺されたという無念な思いに重ね、安倍政権が進める戦争政策にストップをかけなければならないことを感じ取りました。

総会議事は活動経過、活動方針とともに総会アピールを採択し、無事終了しました。



迫 共同代表あいさつ



越坂 事務局長の議事提起



会場に集まった総会の参加者